



心豊かな暮らし

<http://www.yabashi.co.jp/house/>

縁_{en}

2015 Vol.34 spring



季刊
縁_{en} 2015 Vol.34 spring

contents

P 3 »
特集
石と木が心地よく調和したこだわりの平屋建て ― 岐阜県大垣市 Y様邸

P 9 »
矢橋の家
「悠楽」モデルハウス

P 10 »
矢橋の工場見学会

P 11 »
史跡 赤坂お茶屋屋敷 牡丹園

連載
中山道赤坂つれづれの記 文 / 故 清水春一 高岡夢堂

心豊かな暮らし

表紙写真 牡丹園内 牡丹
P1 牡丹園「三宜亭」1F
P2 岐阜県大垣市Y様邸

For the rich life of the mind





石と木が心地よく調和した こだわりの平屋建て

岐阜県大垣市 Y様邸

石材関連のお仕事をされているご主人と、ガーデニングがお好きな奥様の住まい。素材のスペシャリストが、本物をひとつひとつ選択し、石と木、そして庭が心地よく調和した平屋建て。歴史ある母屋と新居が自然と融合している。

休日には、友人を招いてワインパーティーや、ガーデンパーティーをよく開催されるという。家の至るところに庭の野花が飾られており、暮らしを楽しんでいらっしゃる様子やお客様をもてなす気持ちが伝わってくる。

設計／株式会社 車戸建築事務所 施工／株式会社 矢橋巧務店



02



03



04



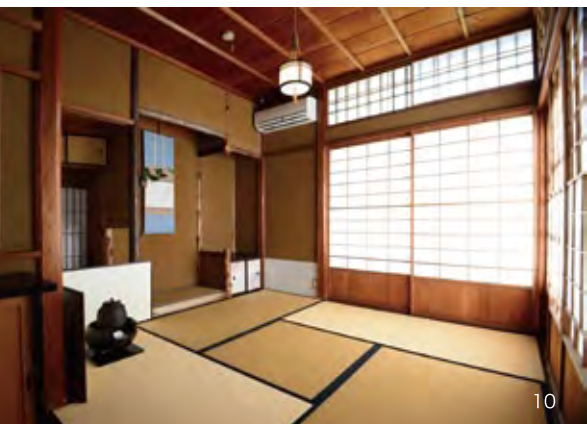
01 リビングから石張りのインナーテラス、そして庭へと開放的に繋がる。庭へ降りる階段には、化石が多く含まれる石灰石が使用されており様々な表情で楽しませてくれる。
02 ダイニング&キッチン。キッチンの壁面は深緑の石が貼られており、無垢フローリングの木と石の調和が美しい。オープンキッチンは友人を招いてパーティーをする際にも便利。
03 広々としたリビング。夏は窓を開け爽やかな風を取り入れる。冬は薪ストーブを焚いて、暖かい空間に。
04 玄関へと続くスロープ。壁面にも石がなんだんに使用されている。



08



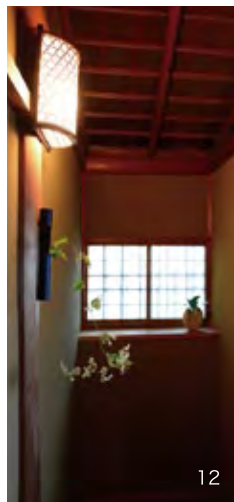
05



10



09



12



11

05 やわらかな日差しが差し込むリビング。野花がお好きという奥様が、庭の植物を自然に暮らしの空間に取り入れている。 06 ゆったりとした石張りの玄関。敷居もフラットで、バリアフリーとなっている。 07 花や絵が飾られている広々とした玄関ホール。玄関からも、庭からも入ることができる。 08 母屋と新居を繋ぐ空間でもある玄関ホール。奥にはクロークがあり、外出の仕度をする事ができる。 09 緑豊かな裏庭。 10 大切にされてきた母屋のお茶室で、おもてなしの時間を。 11 母屋のお手洗い。洗面台には白色の大理石が使用されている。 12 廊下にもさりげなくお花が飾られている。

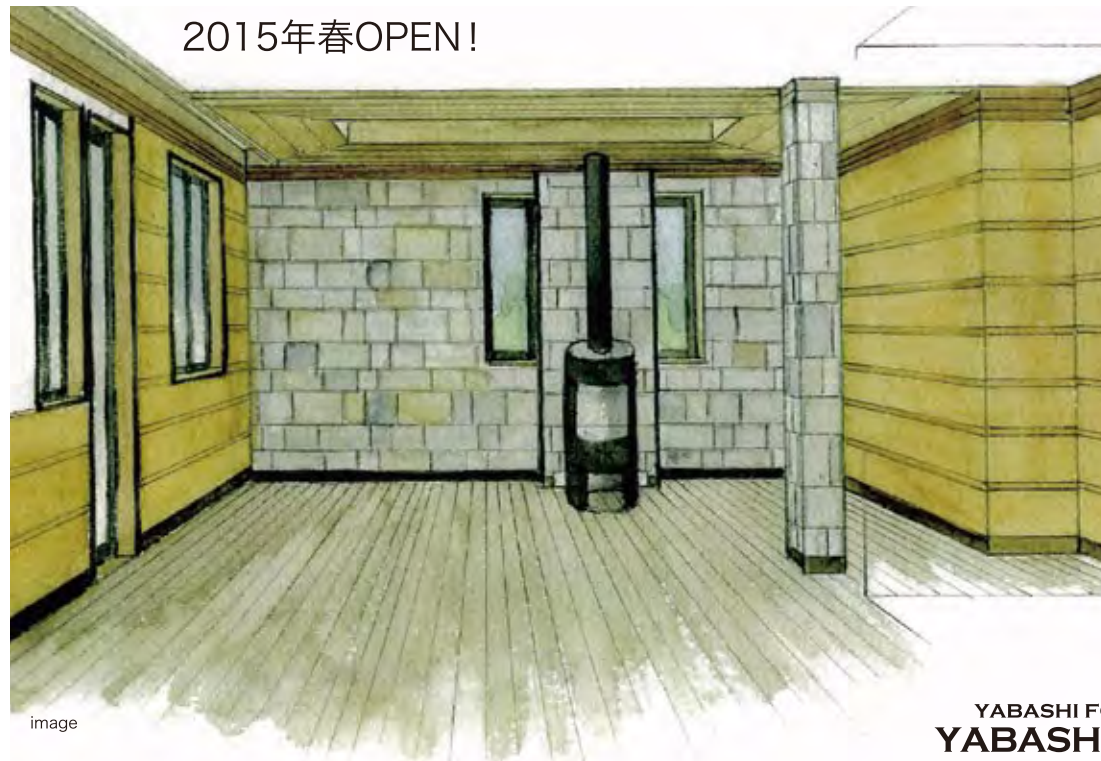


07



06

2015年春OPEN!



image

YABASHI FORESTRY
YABASHINOIE

モデルハウスに使用する石の一部をご紹介します。



丁場



原石

主な使用箇所

玄関床・内部巾木
内部階段段石
リビング柱型・壁

Egypt



エジプト産
大理石
サニーページ



主な使用箇所

外部アプローチ床・階段段石
屋根煙突壁
西面外壁

Vietnam



ベトナム産
御影石
ベトナムイエロー



丁場



丁場



原石

OU
MODEL
HOUSE

木と土と石を使った近代西洋建築の復刻モデル。



image



image

矢橋の工場見学会

これまで、たくさんのお客様に弊社の工場をご見学いただきました。
見学されたお客様からは、「とても興味深かった。」「勉強になった。」「より一層安心感が得られた。」「お子さまからも、「楽しかった！」などのお言葉をいただいております。
ご来場いただきました、皆様ありがとうございました。

今後も工場見学会を開催する予定ですので、まだご見学いただいていない方は、是非一度、弊社の工場へお越しいただき、機械を使った匠の技、手仕事による匠の技をご自身の目でお確かめください。

本物

匠の最新技術



やりがんなを使ったカウンター材の加工(垂井工場内)



昼飯工場内



垂井工場ご見学



昼飯工場ご見学

工場見学会(昼食付)をご希望の方は、以下のフリーダイヤルまでご連絡ください。

矢橋林業株式会社
YABASHI
住宅部 〒503-2122 岐阜県不破郡垂井町表佐410-1 TEL.0584-22-0001
品質マネジメントシステムの国際規格であるISO 9001 認証取得企業
宅地建物取引業(岐阜県) 岐阜県知事(12)第1306号 岐阜県知事(12)第1306号 建設業(岐阜県) 建設業(1)第1306号 建設業(1)第1306号 建設業(1)第1306号

注文住宅・分譲住宅のご用命ご相談はこちらまで。
0120-884-039
<http://www.yabashi.co.jp/house/>

垂井工場

構造材プレカット 加工能力: 約80棟/月
造作加工・塗装

所在地: 岐阜県不破郡垂井町 敷地面積: 約33,000㎡

昼飯工場

羽柄材プレカット 加工能力: 約350棟/月
合板プレカット 加工能力: 約350棟/月
再割加工 加工能力: 約2,300㎡/月

所在地: 岐阜県大垣市昼飯町 敷地面積: 約20,000㎡

YUURAKU MODEL HOUSE

60TH ANNIVERSARY
悠楽
YUURAKU

心豊かな暮らし
矢橋の家



矢橋の家の理念

人が住むべき緑豊かな心休まる良い環境に、天然素材を活かした日本の伝統を受け継ぐ家に住もう。
日本の原風景を取り戻し、日本人が育つ住環境をつくる。

矢橋の家のこだわり

安全 安心 本物 快適 家事 収納 子育て 趣味

温故知新

モデルハウスは、「うるおひの丘」にてご覧いただけます。
NAVI 岐阜県大垣市荒尾町1524-95

<http://www.yabashi.co.jp/house/> 矢橋林業



園内に建つ「三宣亭」と櫻

史跡の由来

紀元一六〇〇年(慶長五年)天下分け目の関ヶ原合戦で大勝した徳川家康は、江戸に幕府を開き、以来二百六十余年に及ぶ徳川幕府の基礎を確立したが、当時、江戸と京都を往復するため、中山道の四里毎に将軍が休泊する専用の旅舎を建設したのが、このお茶屋屋敷であった。

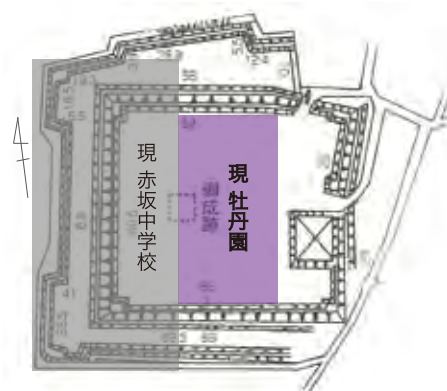
赤坂宿のお茶屋屋敷は、慶長九年(一六〇四年)の春、家康が美濃国中の諸大名に命じて造営させたもので、織田信長の岐阜城千畳敷御殿を移築し、併せて六十一棟の建物を完備したという。総面積三町四反六畝十九歩という広大な屋敷は、方形に近い城郭型式の設計で、四隅に櫓を備え、大手門を入口とし、全域を土塁空濠など構築、結構完備の豪壮なものであったが、寛永年間以後は廃絶した。近世交通史上、初期本陣の貴重な遺構であり、史跡指定となっている。明治維新のとき、払下げを受けた矢橋家が、この屋敷を守りつづけ、また牡丹園として現在に及んでいる。



牡丹園入口

梅が咲き、櫻が咲き、そしてすがすがしい緑の中に華やかに牡丹の花が開く頃となって参りました。
今年かえったばかりの雛がさえずって、若竹の薮に飛び交うでしょう。
当園の牡丹800本も春を迎え、今年も見事な花を咲かせることでしょう。
初めて御来園される方も、毎年おいで頂く方も、1年365日手入れした牡丹の花をめでてください。門は1年中開け放しです。
どなた様にも何のおもてなしも出来ませんが御心おきなくご来園くださいませ。

牡丹園当主 矢橋龍宜



赤坂御茶屋屋敷跡實測地形図

牡丹の株数: 約800本
種類: 約90種
規模: 10,573㎡(約3,200坪)
見頃: 4月～5月(寒牡丹12月～1月)
※見頃は目安であり天候等により異なります

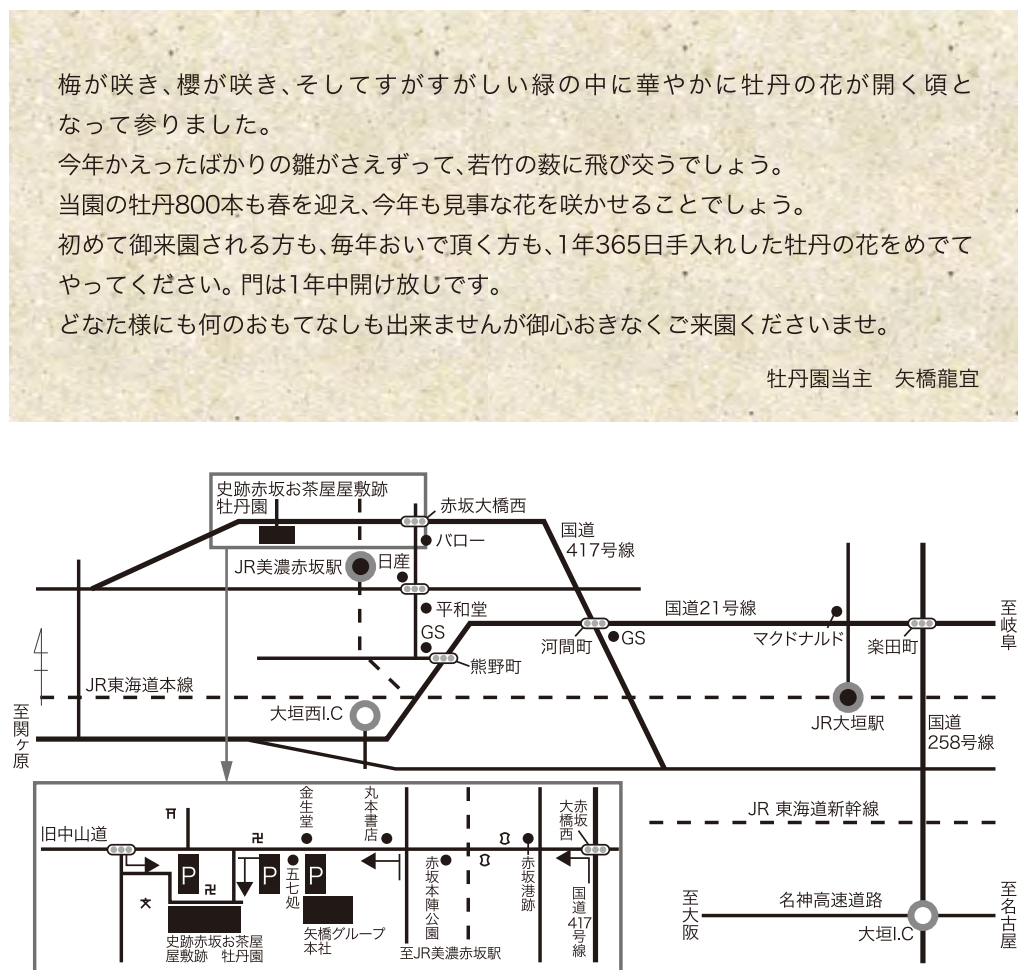
史跡 赤坂お茶屋屋敷跡 牡丹園

〒503-2213

岐阜県大垣市赤坂町3421-1

お問い合わせ

矢橋グループ本社
〒503-2213 大垣市赤坂町226
TEL.0584-71-0820



史跡 赤坂お茶屋屋敷

牡丹園

百花の王者として、その貴族を誇り、広く愛され、親しまれている牡丹の花は、古く(奈良時代、或いは平安朝ともいう)中国から輸入されたものであるが、その根皮が薬用として、頭痛、腰痛、婦人病などの治療に用い、また鎮痛、止血、下熱などにも効くと言われ、薬用植物として栽培されたものであったが、咲く花の美しさと、その芳香の妙味に中国唐代から専ら観賞用として愛玩されるようになった。赤・黄・白・黒などをはじめ多種多様の色彩の豊かな種類があり、また栽培方法も大いに研究が積まれてきて、陽春酣なわの季節のほかに、晩秋から初冬への「寒牡丹」まで人々の眼を楽しませ、憩いのひとときを陶酔に誘う醍醐味を満喫させてくれる貴重な花である。

高岡夢堂

うみゆり連載集 中山道赤坂つれづれの記 故清水 春一

幕末における大垣藩の運命を背負って活躍

し、大きな功績をあげて有終の美を飾った藩老小原鉄心には、身近に多くの人々の協力がありました。中でも鉄心の側近として高岡夢堂（二郎兵衛）を見落とすことはできません。政治家であり、武人であって、しかも学問を嗜み、文雅の道に通じて、鉄心らとともに幅広く奥深い人生を生き抜いた優れた人物であったといえましよう。

文武両道で二千石

さて、鉄心の片腕ともいえるべき重要な役割を演じて、大垣藩のために尽した高岡二郎兵衛は、藩主戸田家譜代の家臣でした。初代は足輕頭で百五十石の禄を食^はんでいた高岡茂左衛門で、尼崎から大垣へ転封になった戸田家に従ってきて、寛永十二年（一六三五）郡奉行に栄進します。茂左衛門は、先発して前任者の松平越中守定綱の家臣代表者と事務引継ぎなど実務的な重要任務を完^はった人であり、翌々年の島原の乱平定に参戦した功勞で二百石を増された大垣藩中堅幹部役人として位置づけら

れました。

また三代目の高岡二郎兵衛公正は戸田家四代の氏定公に仕え、赤穂浅野家の「忠臣蔵」事件にも関与したり、俳聖芭蕉の弟子として、俳号を斜嶺と称し、実弟の佐之介（怒風）とともに俳諧を嗜んでいます。そうした伝統ある家柄で、幕末期の当主三郎兵衛清信の養子として、その長女と結ばれたのが、ここにいう三郎兵衛を襲名した清宣（夢堂）という人物であったのです。

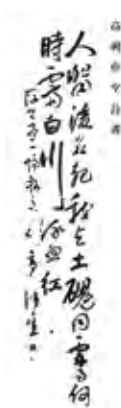
清宣は、字を哲夫といい、大垣藩士筒見源五兵衛宗直の二男ですが、高岡家へ養子縁組して、家督をつぎ、別に夢堂または西温の雅号を称^とえました。文化十四年（一八一七）生まれで、はじめ馬廻番をつとめました。累進して御使番となり、先手弓頭役、鉄砲頭役、御側役に取り立てられ、さらに嘉永三年（一八五〇）には御用人に栄進します。このとき、貧乏暮らして身嗜みも不^さ充分ゆえ殿様直々のおつとめでは申し訳ないから、と強く辞退しましたが、そうした遠慮は無用とあつて、わざわざ仕度金百両を下賜されたという逸話が伝えられています。

用人に栄転した夢堂は、さらに殿様内用のお勝手掛となり、鉄心をたすけて藩政改革につとめ、会計理財の事務も担当しました。時折時勢を論じ、社会情勢を深く研究して献策するなど、藩主の信頼を得て安政三年（一八五六）には百石を増され、勝手向取締頭取を命ぜられたり、文久二年（一八六二）以後は郡代格から大小姓頭、年寄次席に昇進、さらに番頭、年寄本役となり、禄四百石を給せられるという躍進ぶりは、流石の人材であり、その忠誠な人柄が評価されてのことでしょう。

また元治元年（一八六四）八月の長州上洛事件にあたり、大垣藩が鳥羽伏見の警備を命ぜられた折、夢堂はその一方の隊長として活躍したほか、引き続き京洛警備に任じられるなど、武人としての活躍はめざましいものでした。さらに藩校の督学に抜擢されて、総督の鉄心とともに教育振興に尽力、学制改革で名をあげ、大垣藩校は全国的に注目を浴びるまでにいたしました。

しかし、夢堂の功績で最も顕著なのは、長州征討の陣中で大政奉還建白運動の陰で力を尽くしたことと、戊辰戦争（一八六八）のと

き東征軍大垣藩の副総督となり、総督の家老戸田権之助三弥をたすけ、大きく貢献したことでした。その功績に対し六百石を増されて二千石という知行を与えられて輝かしい面目を施しました。菱田海鷗と金生山に遊んだのはこの直後のことでした。このときの詩がある筈なのにそれが発見されず、ここに紹介できぬのが残念です。明治二年十月三日五十三歳で病没、同四十二年九月十一日生前の功勞を賞されて正五位を追贈されました。



右 高岡夢堂
左 高岡夢堂遺墨



矢橋林業株式会社